



進路だより

R2. 10. 14
第3学年 7号
安古市高校進路指導部

10月も半ばとなり、**共通テストまで残すところ94日**。みんなにとってこれからが追込みの時期です。焦らずやるべきことにきちんと取り組み、時間を有効に活用して、真の実力アップを目指しましょう。そして受験プランも具体化していきましょう。

<受験プラン・ここをチェック！>

国公立大学の一般入試では前期日程・中期日程・後期日程と最大3校受験できます。私立大学は日程が重ならなければ何校でも受験できますが、費用や体力の面で限界があります。そこで入試日程などを考えて、実際の「受験校」を決めることが大切です。落ち着いて考えられる今、受験プランを立てましょう。

① 受験校の条件を再確認する。

行きたい大学は心の中にあるでしょうが、実際に受験するのは前期・中期・後期を含め、複数の大学になります。志望校を考える際に、自分の優先順位は何なのかをはっきりさせておくことが大切です。学びたい学部・学科を重視したいのか、大学にこだわりたいのか、地域にこだわりたいのかといった、自分にとって大事な観点を整理しておけば、志望校群はおのずと絞られてきます。

② 自己採点結果による代替プランを考える。

国公立大学は自己採点結果を見て最終的な受験校を決定し出願します。受験はドラマ。思いがけず点を取れることもあれば、失敗することもあります。つまり、共通テストの自己採点結果が、目標点を下回った場合と上回った場合の受験校もあらかじめ考え、柔軟に対応できるようにしておく必要があります。

③ 第一志望と併願校の入試科目はできるだけ揃える。

限られた時間の中で効率よく勉強するためには、受験校の入試科目を揃えることが大切です。できるだけ受験科目が揃うように、志望校を考えましょう。また、入試科目の配点を知ることも必要です。配点の高い科目が得意なら合格の可能性が高くなります。進路関係の冊子や大学の募集要項などで入試科目・配点を調べましょう。

④ 第一志望を後期日程にしない。

国公立大学の一般入試では最大、前期・中期・後期日程と3回受験できます。しかし、前期日程の大学に合格して入学手続きをすると、中期・後期日程の合格資格がなくなってしまう。よほどの事情を除いて、第一志望は前期日程で受験しましょう。

⑤ 第一志望が最初の入試になるのを避ける。

国公立大学の二次試験の前には私立の併願校を、また私立大学の中でも第一志望の前に併願校の入試を設定できるのが望ましいです。初めての試験では緊張のあまり実力を発揮できないことがあり、場慣れしておくことも大事なことです、と先輩たちから経験談として聞いています。

⑥ 国公立大学の中期日程を積極的に利用する。

受け終わったら受かると思うのが人情。しかし、前期以降も集中力を持続させて合格が分かるまでは、中期、後期の準備をしましょう。後期試験は前期で不合格だった人が受けますが、気持ちを切り替えて前向きに粘り強く学習できる人に必ず良い結果はついてきます。中期日程で受験できる大学は限られますが、大いに利用しましょう。

⑦ 私立大学について連続受験は慎重に。

入試では、学力は勿論ですが、それ以外に健康状態や精神状態をベストコンディションに保つことが大切です。試験会場への移動や会場の独特な雰囲気によって、体力や精神力は想像以上に消耗します。共通テスト利用の受験パターンを上手に組み込んでみる、受験日をうまく調整するなどして、3日も4日も連続するような入試日程を組まないように工夫しましょう。

⑧ 私立大学の共通テスト利用は出願期間を確認する。

私立大学の共通利用は共通テストを受ける前に出願をしなければならない大学と、共通テストを受けて自己採点の点数を見てから出願が間に合う大学とがあります。共通テスト利用は、受験料が一般入試より安く、わざわざ足を運ばなくても良いというメリットがあります。一方で、自己採点結果を見ずに出願をしなければならない場合は、共通テストの得点が思うように取れなかった時には無駄になってしまうというデメリットもあります。また、共通テスト利用入試の定員は非常に少ないですが、定員の何倍もの合格者を出す場合もあれば、定員に近い合格者を出す場合もあり、「読めない」入試といえます。以上のことを踏まえ、出願期間等を確認したうえで慎重に計画しましょう。



<模擬試験について>

今月は『模試ラッシュ』。スポーツで言うなら練習試合です。今一度、模試の日程と意義を再確認し、本番に向けて最大限に活用しましょう。

10/10（土）第2回進研記述模試・・・先週実施

共通テストの自己採点と進研記述模試結果でのドッキング判定をし、進路検討会議や三者懇談で志望校に対する二次力を判断する重要な材料となります。

10/24（土）第3回全統記述模試

これが最後の記述模試。10/10（土）の第2回進研記述模試同様に、共通テストの自己採点と全統記述模試結果でのドッキング判定をし、進路検討会議や三者懇談で志望校に対する二次力を判断する重要な材料となります。

*以下の4つの模試は各業者による共通テスト本番の予想問題です！！

10/31（土）11/1（日）第3回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト進研模試

理科、地歴・公民はそれぞれ連続130分を体験します。

11/21（土）全統プレ共通テスト

これが学校で受ける最後の模試となります。

12/13（日）駿台プレ共通テスト

希望者対象。今年はオンライン受験も可能だが、その場合は、復習ができない。そのため、基本は「駿台広島校」で受験しよう。

1/1（金）・2（土）北予備共通プレテスト

希望者対象。「広島修道大学」で実施予定。昨年度、本校の7割以上が受験。

※校外受験の模試を経験していない人は、校外模試を経験するという点からも駿台プレ共通か、北予備共通プレのどちらかは受験して、当日の感覚・雰囲気をつかもう！

<あなたは大丈夫？>



模試の監督や取りまとめをしていると、皆の答案用紙に時々驚かされたり不安にさせられたりします。模試を何度も受験し、慣れてきたかもしれませんが、慣れからくる油断が生じてはいないでしょうか。毎回の模試を本番だと思い、緊張感をもってミスをなくしましょう。特に自己採点まで緊張感を持ち続けることが大切です。

こんな人が毎回、何人もいます・・・

- ▼ 時計を持参するのを忘れてしまった
- ▼ 受験番号を書いていない。
- ▼ 名前をきちんと書けない。（書き忘れ・濁点で1マスとっていない）
- ▼ 理科や地歴公民の選択科目欄のマークが間違っている。またはマークがない。
- ▼ マーク模試なのに指定の濃さの鉛筆（H・HB・F）を持ってきていない。
- ▼ 数学のⅠAやⅡBを解答するのに、ⅠやⅡのページの問題を解いてしまった。
- ▼ 模試の途中でウトウトとしてしまった。
- ▼ 問題用紙に答えを転記するのを忘れてしまった。
- ▼ 自己採点を間違ってしまった。

ミスの背景

特に選択科目のマークの誤りなどは、自分の選択する科目が自分ではわかりきっているため、問題を解く方に意識がいきってしまい確認を忘れてしまうのでしょうか。または、単に緊張感による焦りや不注意でマークをし忘れるかです。その他のミスも集中できていないことから起こる場合が多いです。**思い込み厳禁！！**

対策

対策といっても、当たり前のことをするだけです。**必要事項は解答する前に必ず確認すること。受験番号等の記入を最初に行うこと！！**これだけでミスは防ぐことができます。

☆共通テストでは自己採点が正確でないと志望校を考えることもできません。まさにコンパス（羅針盤）もなく船出するようなもの。今一度、自己採点を正確にすることを心がけて、これからの模試に挑みましょう。